

鉄筋工事施工要領書

工事名称

株式会社 駒井興業

1.	総 則
2.	工 事 内 容
3.	工事管理安全管理組織
4.	安 全 管 理
4-1	安全管理の重点目標
4-2	労働安全衛生法に基づく資格業務
4-3	労働災害防止の対策
5.	施 工 範 囲 (管理範囲)
6.	使 用 材 料
7.	材 料 保 管
7-1	加工設備内容
7-2	加工場配置図
8.	材料及び作業計画
9.	鉄筋組立要領
10.	鉄筋工事標準フロー
11.	安全施工ポイント
12.	配筋検査要領
13.	鉄筋工事自主検査表
14.	自主パトロール点検表

2、工事内容

工事名称

工事場所

用途地域

発注者

設計者

施工者

延べ床面積

建築面積

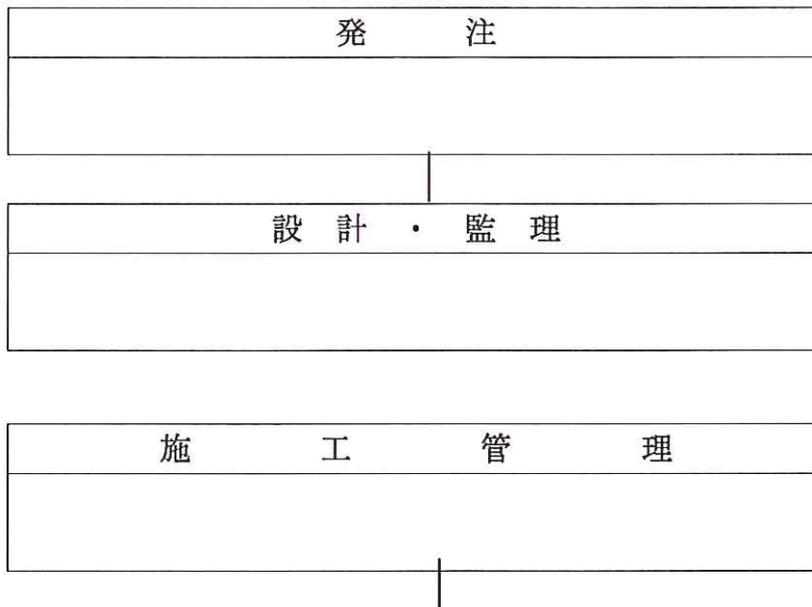
階数

主要用途

工期

主要構造

3. 工事管理・安全管理組織図



鉄 筋 工 事 管 理								
(連絡先)								
会 社 名	株式会社駒井興業							
本社住所	川崎市幸区小向西町3-65-2 044(544)8103							
工 場	横浜市都筑区折本町363-1 045(470)6266							
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">全 般</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">代表取締役 駒井勝利</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">工事部長兼現場代理人 駒井 順司</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">加工・運搬責任者</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>		全 般	代表取締役 駒井勝利		工事部長兼現場代理人 駒井 順司		加工・運搬責任者	
全 般								
代表取締役 駒井勝利								
工事部長兼現場代理人 駒井 順司								
加工・運搬責任者								

4-3 労働災害防止の対策

(1) 重量物の取り扱い災害防止と対策

- a. 鉄筋材の荷下ろし及び移動は、クレーン（レッカー）で行なう。
- b. 玉掛けは、法定資格者が行い合図は統一徹底する。
- c. 荷下ろし及び移動時の重量とクレーンの揚重能力については、事前に十分検討し、係員・オペレーターとの玉掛け及び合図者等の意思統一を図っておく。
- d. シャックルは、J I S規格製品を使用する。
- e. 玉掛けワイヤーは、直径が公称径の7%減少したものは使用しない。
- f. 玉掛けワイヤーは、キンクしたものは使用しない。
- g. 玉掛けワイヤーは、著しい型崩れ、腐食したものは使用しない。

(2) 鉄筋組立時の事故防止と対策

- a. 作業足場及び作業通路を設け墜落事故を防止する。
- b. 高所作業時は、必ず命綱を使用する。
- c. 脚立作業については、単独使用の禁止・最上段での作業禁止・使用の際は3点支持、若しくは足場板2枚敷き作業を遵守する。また、その際は確実にゴムバンド等にて緊結する。
- d. 材料運搬時は、足元・周囲を十分確認する。
- e. 上下作業は避けるが、仕方なく発生した場合は上下とも、十分に声を掛け合い作業する。
- f. 仮設不備な場所が認められた場合は、無理に作業は続けず安全を最優先する。
- g. 関連工事との連絡調整を密にとり、安全を先取りする。
- h. 作業指示書・作業手順書に沿った作業を行なうが、急遽作業に変更が生じた場合は、即関係者と検討対処し、新しい作業指示書・作業手順書のもと作業を行なう。

6. 使用材料

イ 鉄筋の種類

異径鉄筋 D10 ~ D16 → SD295A
" D19 ~ D25 → SD345

(上記異径鉄筋は、JISG3112・JISG3117の規格品を使用する。)

ロ 鉄筋メーカー

D10 ~ D16 → 三興製鋼
D19 ~ D25 → 合同製鐵 (東京デーパー・スチール)

ハ 鉄筋納入

入荷時係員及び係員代理人が鉄筋の種類を確認し、またロット番号とミルシートとの照合を行なう。

ニ 鉄筋材の試験

規格品を使用する為、材料試験は原則として実施しないが、監督員の指示があれば実施する。

この場合は規格証明書を提出する。(試験費は別途)

ホ 結束線・スペーサー

結束線 → 21番線

スペーサー → コンクリートブロック製・合成樹脂製 (ドーナツ)・鋼製

ヘ スペーサーの個数の標準

スペーサーは、鉄筋のかぶり厚さを確保する為、使用部位や所要かぶり厚さに応じてスペーサーの材種や形状・サイズ・色別 (サイズ別により色を変える) する。(原則)

	床版	壁	梁	柱	基礎
個 数	上端 1.3個/m ² 程度	通常の階高では 高さ方向2段	側面・底面共 1.5mに1ヶ所	通常の階高では、 高さ方向2段	4m ² 程度8個
	下端 1.3個/m ² 程度	2段・横1.2m 以内ごと		1辺当り2箇所 1辺当り3箇所	16m ² 程度20個 間隔1.5m程度

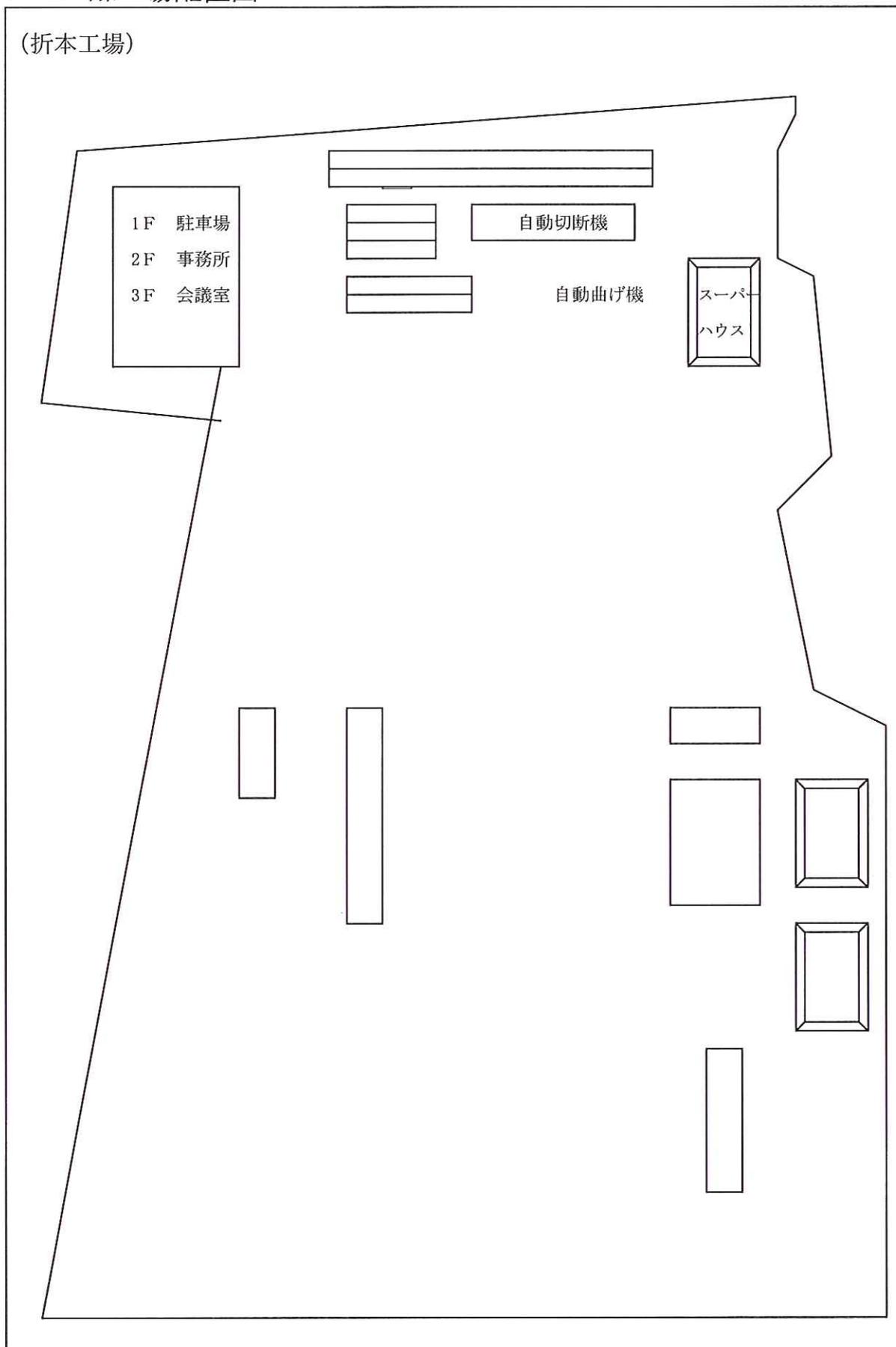
7. 材料保管及び加工運搬

7-1 加工設備内容

加工設備	(有)駒井興業 折本工場		
所在地	横浜市都筑区折本町 363-1		
敷地ヤード	3,352 m ²	(1,016 坪)	
資材ヤード	1,122 m ²	(340 坪)	
加工・製品ヤード	2,230 m ²	(676 坪)	
加工機			
C45	切断機		2台
C32	切断機		2台
	半自動切断機		1台
B45	曲げ機		2台
D B	石原式自動曲げ機 (太物)		1台
B25	曲げ機		2台
B40	曲げ機		2台
B16	曲げ機		5台
D B	石原式自動曲げ機 (細物)		2台
R	R 曲げ機		2台
揚重機能力			
	門型クレーン	(2.8 t 吊り)	3台

7-2 加工場配置図

(折本工場)

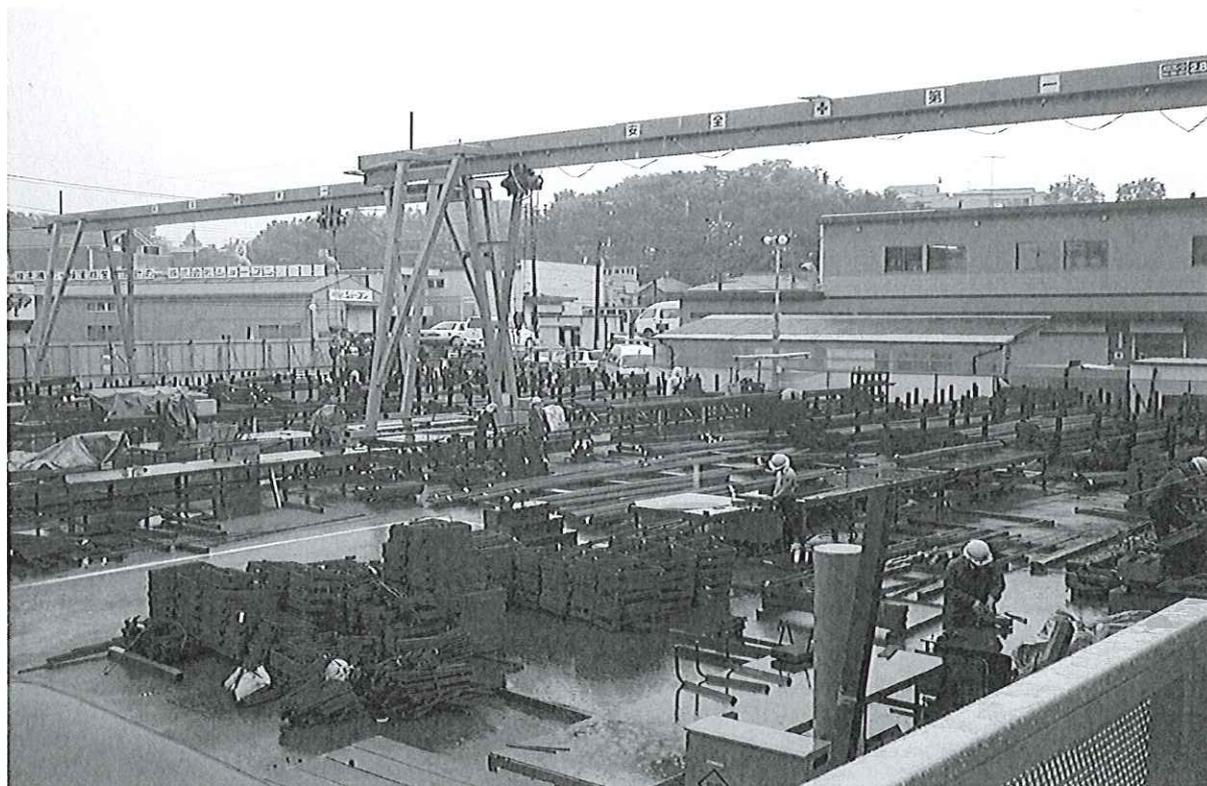


7-2 加工配置図

(工場全体)



(細物)

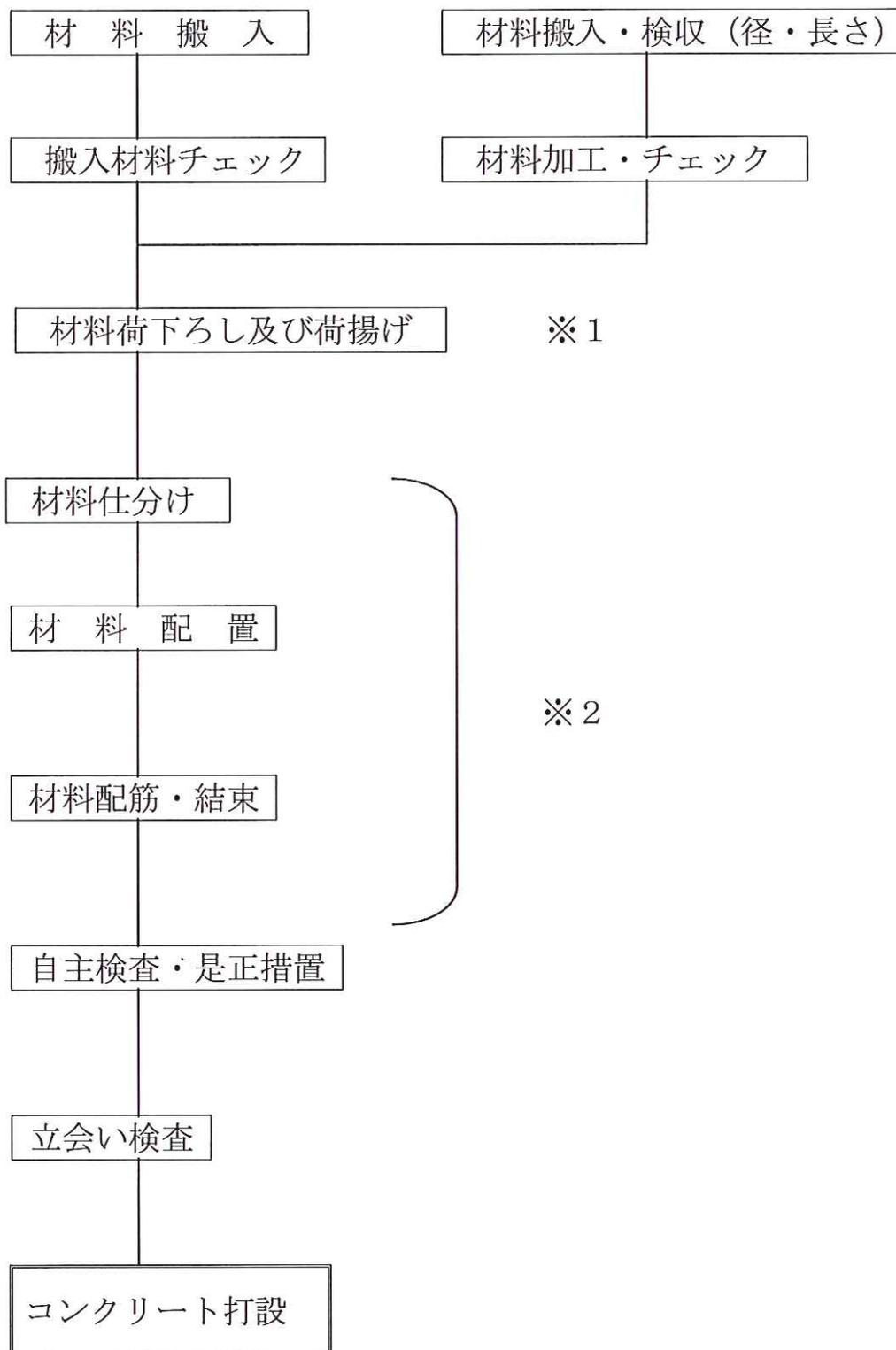


9. 鉄筋組立要領

(1) 基本施工フロー

(工場加工)

(現場加工)



※ 1 基本的には、揚重機作業となる。

※ 2 構造・規模・工法等により異なる。

10. 鉄筋工事標準フロー

